

委託事業実施内容報告書

平成22年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語指導者養成】

受託団体名 大東市

1 事業の趣旨・目的

大東市内には、4つの識字・日本語教室があり、その多くが日本語指導ボランティアにより支えられてきたが、近年、学習者を取り巻く環境の多様化に伴い、より高い指導力が求められている。そこで、学習者のレベルに応じたきめ細やかな指導ができるよう日本語指導ボランティアのスキルアップを目的とした講座を実施し、日本語学習環境の充実を図る。

2 企画委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
7月27日	大東市立公民館 講義室	中田 のぶ子 平川 美紀 東村 小夜子 高橋 和久 日生下 令子	講座の日程・内容の検討	・講座の趣旨説明 ・講師の確定 ・講座日程の調整 ・カリキュラムの検討
3月8日	大東市立公民館 講義室	南口 文明 平川 美紀 東村 小夜子 高橋 和久 日生下 令子	講座を振り返って	・講座全体の報告 ・アンケート結果の検討 ・今後の取り組みについて

3 養成講座の内容について

(1) 養成講座名

日本語ボランティアステップアップ講座

(2) 養成講座の目標

日本語指導ボランティアの指導力向上

(3) 受講者の総数 20 人

(出身・国籍別内訳 日本 18人, 中国 2人)

(4) 開催時間数(回数) 3 時間 (10 回)

(5) 参加対象者の要件

大東市および近隣市在住の方

(6) 受講者の募集方法

- ・市広報誌9月号で募集
- ・市内日本語教室へ募集案内
- ・北河内日本語連絡会議での告知

(7) 研修会場

大東市生涯学習センターアクロス 特別会議室またはメディア研修室

(8) 使用した教材・リソース

- ・講師作成レジュメ
- ・みんなの日本語初級Ⅰ・Ⅱ
- ・日本語おしゃべりのたね
- ・いっぽ にほんご さんぽ 暮らしのにほんご教室 初級1
- ・にほんご これだけ!
- ・にほんご宝船 ～いっしょに作る活動集～
- ・日本語教師必携 すぐに使える「レアリア・生教材」アイデア帖

(9) 講座内容

日時	講座名／学習内容	講師	受講者数
10月21日	地域日本語教室におけるボランティアの役割（最近の地域日本語教室の現状から）	(財)海外技術者研修協会 澤田 幸子	16人
11月4日	初級学習者との活動（初級日本語テキストの活用法）	(財)海外技術者研修協会 澤田 幸子	16人
11月18日	コミュニケーション力とは何か（学習者の話す力を伸ばすために必要なこと）	(財)海外技術者研修協会 澤田 幸子	15人
11月25日	対話型活動の勧め①（「対話中心の活動」とは？）	(財)海外技術者研修協会 澤田 幸子	17人
12月2日	対話型活動の勧め②（「対話」に必要なコミュニケーション力とは）	(財)海外技術者研修協会 澤田 幸子	13人

12月10日	対話型活動の勧め③ (活動の素材と進め方)	(財)海外技術者研修協会 澤田 幸子	17人
1月20日	日本語の知識を増やそう① (受け身文と使役文)	(財)海外技術者研修協会 澤田 幸子	14人
1月27日	日本語の知識を増やそう② (敬語と待遇表現)	(財)海外技術者研修協会 澤田 幸子	11人
2月3日	日本語の音声について (学習者に難しい日本語の発音の練習法)	(財)海外技術者研修協会 澤田 幸子	16人
2月17日	よりよい活動に向けて (活動の振り返りと意見交換)	(財)海外技術者研修協会 澤田 幸子	16人

(10) 講座の評価

① 受講生に対するアンケート(2月17日実施)

質問1 この講座はいかがでしたか。

非常に良かった 11人
 良かった 4人
 どちらともいえない 1人
 あまり良くなかった 0人
 悪かった 0人

【ご意見】

- ・具体的な教え方を説明してもらえた。
- ・他のボランティア講師の方も勉強しながら取り組んでいることがわかってうれしかった。
- ・澤田先生の体験(外国人学習者との)が聞けた。
- ・もっと学習者と関わっていこうと決意できた。
- ・教える内容だけでなく、今後の日本語ボランティアとしての姿勢を勉強できた。
- ・澤田先生のテキストをよく使っているのので、使い方が聞けてよかった。
- ・講座の内容が具体的で、早速自分のボランティア教室で、色々と変更してやり始めています。

- ・体系的な理論・知識と先生の実際のボランティア経験を結びつけて説明していただいたので、自分の経験ともシンクロして難しすぎなかったし、知らなかったことも学習できて、これからの活動に役立ちそうです。
- ・勉強の仕方が分かったので、自分のモチベーションが上がりました。先生が楽しそうにボランティアの話をされるので、自分も続けていこうと思えました。
- ・皆で勉強する雰囲気も良く、意見交換もできて良かったです。
- ・地域の日本語教室のボランティアのためにわかりやすいお話でした。
- ・具体的なノウハウを披露していただけた。授業の進め方がよく分かった。
- ・質問が自由にできた。
- ・日本語が外国人から見るとこうなんだということを少し理解することができました。(どっぷりと日本語に浸かっていますので、何が課題かわからなかった)
- ・わかりやすく話をされて、とてもよかったです。
- ・前回の続きのような、みんなの日本語初級Ⅱとか中級Ⅰの指導法が聞きたかったです。

質問2 講座の回数等はいかがでしたか。

①回数について

長い 0人
 ちょうどいい 15人
 短い 1人

②時間について

長い 0人
 ちょうどいい 15人
 短い 0人

質問3 講座内容は、あなたの活動に役立ちましたか。

非常に役立った(非常に役立ちそう) 6人
 役に立った(役立ちそう) 10人
 どちらともいえない 0人
 あまり役立たなかった(あまり役立ちそうにない) 0人
 役立たなかった(役立ちそうにない) 0人

【ご意見】

- ・手さぐりで教えているので、どんな小さなことも役に立ちますし、澤田先生の講座は実践的で助かりました。
- ・今回は対話型だったので、役に立つ内容ばかりでした。
- ・テキストを使わずに対話を重点的にやるという方法は、はじめて聞くことばかりで、驚いたり感心したりでした。
- ・もう一度教えていただいたことを復習して、自分の中で整理して、活動に役立てようと思います。
- ・対話型の教室の仕方が分かりやすかったです。今まで不安に感じていたことが安心に変わったこともあります。もう一度講座を振り返りながら、頑張りたいと思います。
- ・理論より実践的な講習だった。一緒に考えていく態度、導入から解決までの教え方が参考になった。
- ・ただ会話している時が多々ありましたが、今後はもう少し気を付けて(目的を持つ

て)話すようになると思います。

・ボランティアとしての指導のやり方等をプロの先生の観点から教えて頂けたのでよかったです。

② 実施主体からの研修内容結果評価

これまで市主催の日本語教室では、概ね「みんなの日本語初級」等のテキストを順に学んでいくスタイルの研修および指導を行ってきた。

今回初めて、対話型を主とした講座を実施したが、関心が高く好評であった。様々なレベルの学習者がグループで学ぶ場合や、事情により毎回出席できない学習者に対して、特に有効な指導法であり、従来の指導法と組み合わせることで幅広いニーズに対応できることを学んでいただけた。また、講座期間中から学んだことを実践するなど、受講者の意識が大変高かった。

さらに、複数の異なる日本語教室で活動しているボランティア講師の方に参加いただけたことから、指導法の違い等について情報交換が活発に行われる場とすることができた。

③ 実施主体からの外国人支援体制等今後の計画

今後も、市内および北河内地域の識字・日本語教室との連携を深めながら、多様化する日本語学習者のニーズに対応した学習環境や交流の場の提供を図っていく。

(11) 事業の成果

① 他事業との連携

市内および北河内地域の日本語・識字教室との連絡会議や交流会などで連携を図り、周辺地域全体での日本語学習者の支援施策に取り組むことができた。

② 研修後の人材活用

市内および近隣市の日本語・識字教室や小学校支援等において、ボランティア講師として、活動いただく。

(12) 今後の課題

日本語学習環境の充実のため、今後も継続して研修や交流の機会を提供し、指導者の資質向上を図っていく必要がある。